

(仮訳)

## 気候に関する貿易大臣コアリション 閣僚コミュニケ

気候に関する貿易大臣コアリション（以下、「コアリション」）は、全ての地域の大臣で構成され、発展レベルを異にし、異なる気候的脆弱性と貿易状況に直面しており、気候危機の加速及び破壊的な影響を認識する中、貿易、気候変動、及び持続可能な開発の関係に取り組む我々のコミットメントを再確認するため、第13回WTO閣僚会議の機会にアブダビで会合した。

2023年1月19日のコアリション発足以来、我々の共同の取組は、現場での気候行動と気候面で強靱な開発を後押しするための気候・金融・貿易コミュニティ間の相乗効果の増進及び関連するステークホルダーの関与に重点を置いてきた。特筆すべき成果には、COP28及び初開催のCOP貿易デーにおけるコアリションのプレゼンスと関与が含まれ、これらの場で、我々は、気候変動への世界的な対応における貿易のポジティブな役割を強調した。さらに、2024年の世界経済フォーラムの会議において、コアリションは、貿易、財務、気候担当大臣間の閣僚級会合を開催し、縦割りを打破し、協力と集団行動に向けて取り組む方法について意見交換を行った。また、コアリションの共同議長は、CEO気候リーダー同盟に対して、コアリションとその優先事項を説明した。

今後について、我々の来年の目標は、これらの成果をさらに発展させることである。我々は、積極的にCOP29への貿易コミュニティの参加を促し、財務大臣及び気候大臣との関与を強化するための取組を継続する。我々は、民間部門の重要な役割を認識し、貿易政策がいかに脱炭素化の取組を後押しし、特に中小零細企業のための持続可能な開発に貢献できるかを特定するための更なる協働と貢献が必要であると考えている。

本日、我々は、コアリションの原則に沿って、コアリションの優先事項を実施するために個別的・集団的にとることができる自主的行動について議論した。この点、我々は、WTOにおいて、貿易、気候変動の適応・緩和及び持続可能な開発の関係に関する包摂的な協力を促進するためのダイナミックで積極的なリーダーシップが重要であると認識する。我々は、WTOの様々な機関やイニシアティブにおいて、気候面で脆弱な国、後発開発途上国、内陸途上国、小島嶼国、小規模脆弱エコノミーを始めとする途上国が直面する課題に特に留意しながら、オープンで包摂的な対話を促進するための更なる努力が必要であると考えている。

したがって、我々は、MC13を前に、WTOを、グローバルな環境課題により対応できるようにしていく重要性を強調する。我々は、WTO閣僚宣言において、貿易、貿易政策及びWTOが、持続可能な開発を考慮しながら、気候危機へのグローバルな対応をどのように支援できるかについての野心的、具体的そして前向きなコミットメントが盛り込まれることを求める。また、グローバルな環境諸課題間の相関関係を踏まえて、我々は、全てのWTOメンバーに可能な限り早期の漁業補助金協定の受諾と、MC13において漁業補助金に関する包括的な合意を達成するための追加的な規定を実現することを呼びかける。